

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成27年9月15日

文部科学大臣殿

青山学院大学学長
仙波 憲一 印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	青山学院 大学	②所在地:	東京都渋谷区渋谷4-4-25		
③課程名:	ワークショップデザイナー育成プログラム	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2008年4月1日
⑥責任者:	社会情報学部長 稲積宏誠	⑦定員:	50名/期	⑧期間:	3ヶ月
⑨申請する課程の目的・概要:	ワークショップデザイナー育成プログラムは、多元的共生社会といわれる現代において求められている多様な人と人、コミュニティとコミュニティをつなぐ人材を育成することを目的としています。ワークショップデザイナー育成プログラムでは、ワークショップデザイナーを「コミュニケーションの場づくりの専門家」と定義し、その育成をしています。				
⑩4テーマへの該当の有無	⑪履修資格:	高校卒業以上、及びそれと同等の学力があるとみなされた人			
⑫対象とする職業の種類:	ワークショップの企画・運営、ファシリテーションにかかわる職域、人材開発、人材育成、人事の管理や運用など人材の資質能力開発や向上にかかわる職域、異分野・多文化間のコーディネーター業務などの職域、創造的、協働的、アートの場づくりが求められる職域など				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ワークショップやファシリテーションの定義などの基本的な知識 有効な人間関係や良好なコミュニティづくりのための知識やファシリテーション技能 場作りに関する知識・技能		(得られる能力) 講座内でのコミュニティづくりを通して得られる、人間関係形成能力、自己理解、他者理解能力 ワークショップの実践経験を通して得られるファシリテーション能力、場づくりのデザイン力		
⑭教育課程:	主に基礎理論科目eラーニングにて、ワークショップやファシリテーション、対話の定義や概念の整理をし、基礎理論科目対面講座でのワークやディスカッションを通して理解を深める。有効な人間関係や良好なコミュニティづくりのための知識やファシリテーション技能については、基礎理論科目eラーニング及びデザイン必修科目eラーニングで実務家による講義や実践を解説する教材で学んだうえで、特にワークショップ実践Ⅰ・Ⅱの研修、演習、実習などの対面講座のグループワークにおいて人間関係形成能力や自己理解、他者理解能力などを経験的に学ぶ。またその意味づけや解説を対面講座の中で行っていく。場づくりに関する知識、技能については、デザイン必修・選択科目のeラーニングで学んだうえで、ワークショップ実践Ⅰ・Ⅱの演習、実習で実際に場づくりを行うことで、場をデザインする力やファシリテーションの力を身につけていく。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	120時間の講座受講とレポート課題に加え、実習等の意欲や態度、総合課題による最終的な学習成果の確認などの総合的な評価で修了判定されること				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書 ワorkshopデザイナー				
⑰総授業時数:	144 時間	⑱要件該当授業時数:	119.5 該当要件	2,3,4	⑲要件該当授業時数/総授業時数: 83%
⑳成績評価の方法:	120時間の講座受講とレポート課題・実習等の意欲や態度、総合課題による最終的な学習成果の確認などの総合的な評価を行っている				
㉑自己点検・評価の方法:	講師・事務局と、運営委員会の2つのグループにおいて毎期の振り返り、自己評価を行っている。2015年度から外部評価に関する規則を設置し、カリキュラムの編成や自己点検について客観的な評価を得る仕組みを展開し内部評価と合わせて行う。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に声をかけ修了後の活躍について情報を収集し、ホームページ上でワークショップデザイナーの実践を集め、紹介している。SNS等を活用して修了者のコミュニティを形成しているほか、修了生を支援するNPOが年に数回のシンポジウムを開催、また関連の財団法人と協力し資質向上のための認定制度を設けて、長期にわたった質の保障を行っている。				
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	1、外部評価に関する規則に基づいて外部評価に関する意見を収集する。 2、企業の修了者からの意見収集 3、広報活動の一環として企業との連携をする際のヒアリングなど				
㉔社会人の受講しやすい工夫:	対面講座はすべて土日に開講、対面講座に欠席した場合補講制度を実施している。1期で受講が困難な場合は最大限その後2期かけて引き続き受講ができるような保証制度を用意している。120時間の受講時間のうち3分の1がeラーニングとしているため時間を選ばずに受講することができる。また、連携選考制度を用意し指定の企業からの推薦で受講できるようなシステムも実施している。厚生労働省の教育訓練給付制度の指定を受けている。				
㉕ホームページ:	(URL)http://wsd.irc.aoyama.ac.jp				

事務担当者名:	所属部署:
連絡先:	(電話番号) (E-mail)

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。